

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	動作学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	夜間部2年		学期及び曜時限	前期	教室名	902教室
担当教員	疋田 佳希					
実務経験と その関連資格	理学療法士として6年間、急性期・回復期病院に勤務。その後、個人事業としてarukuck lab設立し、トップアスリートのリハビリ、足底板作成、歩行動作改善に従事される。現在は整形外科クリニックに勤務し運動器理学療法、スポーツ理学療法に携わっている。また、動作のバイオメカニクスに関する研究も行い修士号を取得。					
《授業科目における学習内容》						
(目標①)基本的動作の知識修得、(目標②)動作観察の技術修得、(目標③)動作分析に必要な問題点の仮説を立てることができる この授業では、「動作分析」に必要な正常動作の知識と観察・分析能力を「座学」・「グループワーク」を通して学びます。これらの知識と技術が、臨床実習時の「評価および治療プログラム立案」につながるように学んでいきます。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
●石井慎一郎:動作分析-臨床活用講座-バイオメカニクスに基づく臨床推論の実践(MEDICAL VIEW) ●山本澄子:基礎バイオメカニクス-第2版-(医歯薬出版株式会社)						
《授業外における学習方法》						
《履修に当たっての留意点》						
「動作分析」は、理学療法士にとって必須のスキルになります。「正常動作」を知ることで、はじめて「異常動作」がわかります。授業では予習として「正常動作の知識」をinputしておいて下さい。また適宜、到達確認の「小テスト」を実施しますので、復習も怠らず頑張ってください。高校物理(力学)の復習をしておくこと、授業にスムーズに入れます。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	講義全体の概要を知る		教科書		
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション				
第2回	授業を通じての到達目標	動作学の概要を知る		教科書		
	各コマにおける授業予定	動作学 総論				
第3回	授業を通じての到達目標	歩行のメカニズムを知り、観察のポイントを知る		教科書	復習/次講義の動作の予習	
	各コマにおける授業予定	歩行のメカニズム①				
第4回	授業を通じての到達目標	歩行のメカニズムを知り、観察のポイントを知る		教科書	復習/次講義の動作(フェーズ)の予習	
	各コマにおける授業予定	歩行のメカニズム②				
第5回	授業を通じての到達目標	歩行のメカニズムを知り、観察のポイントを知る		教科書	復習/次講義の動作(フェーズ)の予習	
	各コマにおける授業予定	歩行のメカニズム②				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	立ち上がりのメカニズムを知り、観察のポイントを知る	教科書	復習/次講義の動作(フェーズ)の予習
	各コマにおける授業予定	立ち上がりのメカニズム①		
第7回	授業を通じての到達目標	立ち上がりのメカニズムを知り、観察のポイントを知る	教科書	復習/次講義の動作(フェーズ)の予習
	各コマにおける授業予定	立ち上がりのメカニズム②		
第8回	授業を通じての到達目標	立ち上がりのメカニズムを知り、観察のポイントを知る	教科書	復習/次講義の動作(フェーズ)の予習
	各コマにおける授業予定	立ち上がりのメカニズム③		
第9回	授業を通じての到達目標	寝返りのメカニズムを知り、観察のポイントを知る	教科書	復習/次講義の動作(フェーズ)の予習
	各コマにおける授業予定	寝返りのメカニズム①		
第10回	授業を通じての到達目標	寝返りのメカニズムを知り、観察のポイントを知る	教科書	復習/次講義の動作(フェーズ)の予習
	各コマにおける授業予定	寝返りのメカニズム①		
第11回	授業を通じての到達目標	起き上がりのメカニズムを知り、観察のポイントを知る	教科書	復習/次講義の動作(フェーズ)の予習
	各コマにおける授業予定	起き上がりのメカニズム①		
第12回	授業を通じての到達目標	起き上がりのメカニズムを知り、観察のポイントを知る	教科書	復習/次講義の動作(フェーズ)の予習
	各コマにおける授業予定	起き上がりのメカニズム①		
第13回	授業を通じての到達目標	症例の動作分析をグループで討議することができる	教科書	観察のポイント予習/復習
	各コマにおける授業予定	グループワーク/ディスカッション①		
第14回	授業を通じての到達目標	症例の動作分析をグループで討議することができる	教科書	観察のポイント予習/復習
	各コマにおける授業予定	グループワーク/ディスカッション②		
第15回	授業を通じての到達目標		教科書	
	各コマにおける授業予定	まとめ		